

<多様な担い手の確保に取り組む事例>

○石積み棚田の保全管理と地域活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮崎県 <small>にちなんし</small> 日南市 <small>さかもと</small> 坂元			
協定面積	田 (57%)	畑 (43%)	草地	採草放牧地
10.7 ha	水稻	果樹、野菜	—	—
交付金額	個人配分			50%
153 万円	共同取組活動 (50%)	水路・農道等の維持・管理		20%
		農用地等の維持管理		15%
		多面的機能を増進する取組		10%
		その他		5%
協定参加者	農業者 16人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

本集落は、日南市の西部に位置し、昭和初期に整備された集落内の石積み棚田は坂元棚田として有名であるが、高齢化、過疎化が進む中、これら地域資源を集落全体で維持管理し、集落活性化を推進するため、平成12年度から本制度に取り組んでいる。

3. 取組の内容

これまで、集落内の各種協議会と連携し、毎年4月に開催される「棚田まつり」への支援や都市住民を対象とした棚田オーナー制度等に取り組み、農地の保全管理のみならず、集落情報の発信、都市交流活動に積極的に取り組んできた。

このような中、平成20年度より、集落内の更なる連携強化に向け、各種協議会を統合した「坂元棚田保存会」を新たに設立し、将来にわたる棚田の保全管理体制づくりと、より一層の集落活性化に向けた検討、取組を行っている。

また、地域づくりの拠点となる「道の駅酒谷」の平成9年度開業を契機に、協定参加者が棚田米のブランド化、地場産農産物を使用した団子・漬物等の加工品開発・販売を行うことにより、農産物の高付加価値化、農業所得の向上にも取り組んでいる。



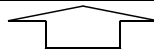
非農家と連携した石垣清掃作業



棚田オーナーによる稲刈り体験

【集落の将来像】

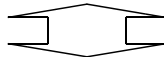
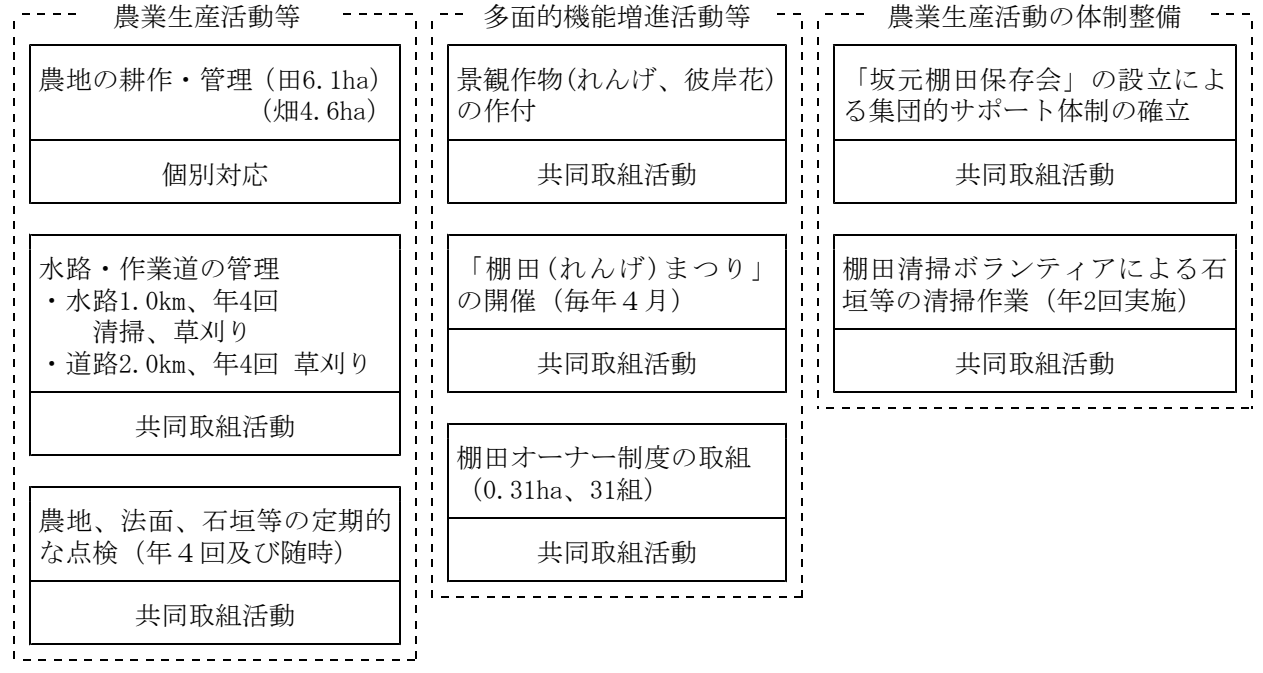
○ 集落ぐるみの農業生産活動等体制整備



【将来像を実現するための活動目標】

○ 平成18年10月に当市で開催された第12回全国棚田サミットを契機に、交付金を更に有効活用し、棚田の保全管理と集落活性化を推進する。

【活動内容】



集落外との連携

○山村振興事業により整備された「道の駅酒谷」と連携した地場産農産加工品の販売
○主に集落外に居住する農業後継者グループ「若衆(わけし)会」と連携し、棚田保全等を推進する。

4. 今後の課題等

棚田オーナー制度等の取り組みを通じ、都市住民との交流が促進され、集落住民に生きがいが生まれるとともに、自らの集落が持つ農村資源に対する意識改革に繋がり、棚田の保全等に向けた取組が活性化している。今後もこうした体験型・交流型イベントの継続により、更なる情報発信力の強化を行い、棚田米等を始めとする集落ブランド力を高め、販売拡大を図ることとしている。

また、本集落においても高齢化・過疎化の進行により、今後の集落維持に懸念があることから、集落外に居住する農業後継者グループ等との連携を強化し、地域資源の維持・保全に向けた営農体制づくりを図ることとしている。

【第2期対策の主な成果】平成21年度実績

- ・石積清掃作業や景観作物作付による棚田景観の維持 (清掃ボランティア参加者数：50名)
- ・棚田オーナー制度の実施による都市住民との交流促進 (オーナー参加数：31組)
- ・「道の駅酒谷」と連携した地場農産物や加工品の販売による所得向上